

ながの協働ねっと  
2022 年度通常総会  
— 議 案 書 —

2022 年 5 月 23 日（月）15:00～17:00  
もんぜんぷら座会議室 304

# ながの協働ねっと 設立趣意書

## <キャッチフレーズ>

「ながのの未来を創る、皆さんの新しいコミュニティです。」

## <ミッション>

市民の自主性が活かされ、NPOが活躍する地域、多様な人々が結び合い、共に生きる未来志向の新しいコミュニティを創る

### 1 設立までの経過

市民公益活動センター（現・市民協働サポートセンター）設立から10年、「長野市にNPOのネットワークが欲しい!」という声が高まっていました。

設立の背景として、一つは24年4月より発起メンバーのNPO法人が毎月長野市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会を開催してきたことです。交流が深まり、運営の悩みや地域問題を議論する場ができました。二つ目はセンター主催「NPOカフェまんまる」の交流がきっかけで市民や企業経営者らとの協働事業「忍者をふやそう大作戦」「食育劇団ええ〜っこ」が生まれてきたこと。三つ目は25年7月に開催したセンター10周年記念フォーラム開催を通して協働することの大切さを実感したことです。NPOの中からネットワーク設立を訴える声があがり、25年11月から10回に渡って検討を重ね、設立に至りました。

### 2 設立趣旨

ながの協働ねっとは「ながのの未来を創る、みんなの新しいコミュニティ」です。NPOがコーディネーター役となって、NPO同士はもちろん、市民・企業・行政・起業家ら多様な方々が集います。そして、市民が自主的につながり、未来志向で議論し、共に地域・社会の課題解決に向けた事業を企画実行することで、新しいコミュニティがここ長野に育つことを目指します。

具体的には二本の柱をミッションにしています。一本目は「NPOの自立と成長、ネットワークの拡大」として、定期的な交流会や相互支援プロジェクトを考えています。二本目は「NPOと市民・地縁団体・企業・社会起業家・行政との対話交流の促進と協働の創出」として、テーマを決めた交流会の開催や企業見学、商品・サービスの協働開発、プレゼンの場の設定などをニーズに合わせて企画する予定です。

平成26年7月11日

長野市新田町1485-1  
ながの協働ねっと  
(市民協働サポートセンター)

# ながの協働ねっと

## — 2022 年度通常総会次第 —

### 1 開 会

### 2 議長選出

### 3 審議事項

第 1 号議案 2021 年度事業報告の承認について

第 2 号議案 2021 年度決算報告の承認について

第 3 号議案 2021 年度監査報告について

第 4 号議案 2022 年度事業計画の承認について

第 5 号議案 2022 年度予算の承認について

### 4 その他

### 5 閉 会

## 【第1号議案】

### 2021年度 ながの協働ねっと事業報告

#### 《各事業》

#### 1 NPOの対話・交流、相互支援に関する事業

##### (1) 「TALK&TALK」「会員ミーティング」の開催

11月26日「寄付からはじまる新たな可能性を探そう ～NPO×お寺×企業」  
市民協働サポートセンターとの共催。担当理事が協働で企画。

会員からの参加：9人

##### (2) 相互支援のきっかけづくり

上記イベントがきっかけとなり、企業との関係づくりをした団体があった。

##### (3) オンラインコミュニティの運営

facebook Messenger、メーリングリストを活用しての情報交換

#### 2 NPOのネットワークの拡大に関する事業

##### (1) 会員の拡大・広報の強化

- ・長野市ながのまちづくり活動補助金の交付団体に対する勧誘活動
- ・千曲市のまちづくり団体に対する勧誘活動
- ・地域まるごとキャンパス提案団体への勧誘活動

新規入会：株式会社パルセイロアスレチッククラブ、Hope Apple、  
一般社団法人長野市開発公社(以上まるごとキャンパスにて)  
子どもたちへヨガを伝える会  
寺澤順子・田中秀夫(個人賛助)

- ・公式ホームページ(4月リリース)・facebook ページ「ながの協働ねっと」での発信も強化(本会計で管理費を予算化)。市民協働サポートセンターをはじめとする他の公式ページとの連携。

##### (2) 協働プロジェクト等の検討・実施

- ・会員だけでなく、会員外団体からの提案による協働プロジェクトも検討する。  
それにより会員拡大を図る

#### 3 NPOと協働先(市民・地縁団体・企業・社会的起業家・行政等)の対話・交流に関する事業

##### (1) 会員同士の交流会「TALK&TALK」「会員ミーティング」開催

##### (2) NPOと企業、行政、地縁団体、市民の交流

NPO、企業家、行政職員等の幅広い参加者を想定。会員拡大につなげる

##### ① 企業との交流

- ・各プロジェクトの活動を通して実施
- ・会員企業と企画

11月26日 「寄付からはじまる新たな可能性を探そう ～NPO×お寺×企業」

市民協働サポートセンターとの共催。担当理事が協働で企画。

会員からの参加：9人（再掲）

② 行政との交流

・主に「会員ミーティング」で、市の出前講座を活用した勉強会を開催し、対話の場へと広げる取り組みとする。・・・実施なし

③ 地縁団体との交流

・市民協働サポートセンター事業「地域まんまる」への参加  
2回開催・・・会員参加なし

(3) 研修

・9月開催予定のコミュニティマネジメントの講座(市民協働サポートセンター主催)の共催団体となり、会員が学びあう1日とする。

参加：4人

・その他、SDGs等の研修を企画・・・特になし

#### 4 NPOと協働先との協働の創出に関する事業

(1) 食育劇団ええ〜っこ

創作劇、民族芸能等を通じた食育の推進に関する活動

外部からの依頼があれば上演・・・実施なし

(2) ながの忍者をふやそう大作戦

・ハート手裏剣寄付 申請団体の公募・・・実施なし

・外部イベントでの出店・・・実施なし

(3) 地域まるごとキャンパス

NPOの活動フィールドと学生をつなぐ、学生の学び・体験・参加を支えるプロジェクト

ア NPO活動フィールド募集(目標40フィールド)

イ 団体説明会 事業の趣旨を理解してもらったうえで参加してもらうため

ウ 学生(活動者)募集

ウ 学生(活動者)活動期間

4月25日～2022年2月28日

エ 年度末報告会(信州高大生応援フェス)

3月12日開催ユースリーチ事業「ユースリーチ文化祭」で報告

実行委員会 年6回/49人参加 フィールド提案数 27団体 28件

説明会・イベントを含めた述べ参加人数1,423人 プログラムに参加した学生271人(高校生177人、大学・専門学校37人、その他57人)

期日	内容	参加人数
4月5日(月)	実行委員会	7
4月15日(木)	篠ノ井高校打ち合わせ	1
4月19日(月)	長野日大高校学生説明会	O1,000
4月24日(土)	学生説明会(会場・オンライン併用)	R39、O14
4月25日(日)	新学期応援フェス	50
4月26日(月)	市立長野高校打ち合わせ	3

4月28日(水)	第一学院高校打ち合わせ	1
4月30日(金)	第一学院学生説明会	60
4月30日(金)	学生説明会(会場・オンライン併用)	R40、O16
5月10日(月)	長野女子高校学生説明会	20
5月14日(金)	篠ノ井ライオンズクラブ打ち合わせ	3
5月14日(金)	長野俊英高校チラン案内・打ち合わせ	1
5月18日(火)	北信教育事務所打ち合わせ	1
5月21日(金)	十念寺事業案内	1
5月27日(木)	プログラム提案団体向け説明会	2
6月3日(木)	長野市開発公社打ち合わせ	5
6月4日(金)	プログラム提案団体向け説明会	0
6月15日(火)	実行委員会	R5、O1
6月24日(木)	蓮香寺事業案内	1
6月25日(金)	西光寺事業案内	1
7月1日(木)	篠ノ井高校打ち合わせ	2
7月4日(日)	七二会地区打ち合わせ	6
7月5日(月)	圓成寺事業案内	1
7月7日(水)	文化学園長野高校打ち合わせ	1
7月7日(水)	長野俊英高校打ち合わせ	1
7月9日(金)	長野美術専門学校打ち合わせ	1
7月9日(金)	県立大学学生向け説明会	O30
7月10日(土)	学生向け説明会	R1
7月14日(水)	学生向け説明会	R12
7月19日(月)	篠ノ井高校学生向け説明会	50
8月4日(水)	大豆島地区住民自治協議会取材	2
8月10日(火)	長野県社会福祉協議会取材	6
8月12日(木)	長野県社会福祉協議会取材	4
8月19日(木)	実行委員会	O4
8月29日(木)	一般社団法人信州子育てみらいネット取材	1
10月9日(土)	学生向け説明会	R9、O2
10月13日(水)	学生向け説明会	R8、O2
10月18日(月)	実行委員会	R9、O1
10月23日(土)	参加学生交流会打ち合わせ	4
12月10日(金)	プログラム提案団体交流会打ち合わせ	2
12月27日(月)	大豆島地区住民自治協議会打ち合わせ	1
1月12日(水)	報告書打ち合わせ	1
1月22日(土)	参加学生交流会打ち合わせ	2
1月22日(土)	プログラム提案団体交流会	R3、O13
2月6日(日)	参加学生交流会	9
2月22日(火)	実行委員会	R4、O6

3月12日(土)	ユースリーチ文化祭	O105
3月18日(金)	実行委員会	R8、O4
	<b>延べ</b>	<b>R389、O1198</b>

(5) キセキのみそ復活プロジェクト

2020年1月の会員ミーティングで生まれた企画。東日本台風で被災した長沼地区津野にある小川醸造場の奇跡的に被災を免れたみそを復興のシンボル・長野の食文化のシンボルとして復活させることにより、長く根付く発酵食品文化や地域の資源等を学習し理解を広めるプロジェクト。実行委員会形式(会員団体では、食育体験教室コラボが参画)。ながの協働ねっとは協力団体。

2020年当初から長野市立長野中学校の1年生が参画。

学校の校外活動として、2020年・2021年・2022年(予定)、各年度の新1年生の地域を学ぶ授業として定着しつつある。事前学習の実施と6月の豆まき・7月の草取り・11月の収穫と脱穀・1月から3月の味噌仕込みと、一連の作業を小川醸造さんとキセキのみそ復活プロジェクトメンバーと体験した。

生徒たちの学習発表会等も学校にて開催されている。

参加人数は、生徒数70人+担当教諭5名

(6) 寄付月間 ～Giving Decenber～ (新規)

寄付月間アンバサダーに立候補し承認。

公式認定企画にながの協働ねっととして申請。

担当理事が企画を主導。

・11月26日

「寄付からはじまる新たな可能性を探そう ～NPO×お寺×企業」  
市民協働サポートセンターとの共催。参加者26人(内会員9人)

・2月12日

「募金箱ワークショップ」参加者23人 参加者が作成した募金箱を美容室Flar等に設置

※上記企画が、寄付月間 アンバサダー賞を受賞 授賞式には川崎理事が参加

(7) 夏休み自由研究こうりやくダンジョン×NPO

小学生の自由研究の題材として、NPOの活動現場をコーディネートする企画。市民協働サポートセンター主催・ながの協働ねっと共催。会員団体限定での企画。参加団体4団体、参加者10人

(8) 長野美術専門学校授業との協働企画として、ロゴマーク作成依頼。交流会にて投票し、決定。リリース時は記者会見を開いた

# 寄付からはじまる新たな可能性を探そう～NPO×お寺×企業…？～

日 時：2021年11月26日(金)17:30～19:30

場 所：もんぜんぷら座 304 会議室

参加者：26人

(NPO関係者8 学校関係・学生4 企業5 お寺4 地縁団体1 他4)

内 容：さまざまな形で寄付を集めたり、寄付をしている人が集まり、それぞれの事例やその裏の想いを共有する。

## (1) 寄付を集めた人の STORY をきこう

### ◆キセキのみそ復活プロジェクト 河野ます美さん

#### 活動内容

2019年東日本台風で、長沼地区にある創業135年の小川醸造場のみそ蔵が全壊。

「地域で愛されてきたみそ蔵を復活させることで、同地域に希望の光を灯したい」という想いをもつNPOや個人が立ち上がり、クラウドファンディング(※)で寄付を集める。

71人から約180万円の支援があり、大豆を選別する機械を購入する資金にあてた。

※クラウドファンディングとは、インターネットを通して資金を募るしくみ。

#### クラウドファンディングを通じて

クラウドファンディングは、ただお金を集める手段ではなく、より多くの人に想いを伝えるために使った。ストーリーの共有(災害を忘れない・長野の財産を守る)により、共感の輪が広がったのではないかと思う。



### ◆災害ボランティア委員会 阿部今日子さん

#### 活動内容

東日本大震災を機に発足。普段は防災教育などをし、台風19号の際には長沼・豊野などで支援活動を行う。

#### 寄付を集める方法

スマートサプライ：必要なものを必要な人へ。アマゾンのほしいものリストを活用したシステム。支援状況がリアルタイムで見られることが利点。

寄付付き商品：アルクマの復興コーヒーを販売し、80万円の寄付金となる。1個150円と手に取りやすい価格で多くの人に受け入れられたのではないか。



### ◆NPO法人えんまる 岩間淳さん

#### 活動内容

訪問型病児保育事業の他、希望する児童扶養手当受給家庭へ食料や学用品を無料で支援する子ども宅食。

最初は不審感をもたれていたが、何度も訪問するうち信頼関係ができ、今では喜んでドアを開けてくれるまでに。

#### 寄付者への感謝・報告の大切さ

寄付された物をプレゼントとして包み、丁寧に渡すことを心掛ける。



寄付者にはどんな風に渡し、どんなに喜んでくれたかという報告や感謝の気持ちを丁寧に伝えるている。

#### 寄付の連鎖

第一生命とJT社員が作った紙バックを大活用している。

みんなで応援プログラム(アマゾン)→アマゾンの欲しいものリストを活用して、全国に支援を呼びかけ、先日、埼玉から支援物資が届いた。

#### ◆長野県社会福祉協議会

##### 寄付募集の方法

コロナ禍で大変な状況にある医療と介護の現場で使う防護服をつくる企画で、YouTubeを活用。

長野工業高校は、農業用マルチシートで200枚近く作り寄付。

YouTubeにはさまざまなコンテンツを普段から挙げており、いろんな方面でヒットしアクセスしたのではないかな。



#### (2) 寄付をした人のSTORYをきこう

#### ◆十念寺 袖山栄輝さん

##### 寄付内容

地域まるごとキャンパスへの協賛。青年の育成活動。

##### 寄付をした理由

社会貢献の主旨に賛同。

団体は決済に時間がかかるが、お寺の住職はワンオペ。決断が早いのがメリット。

もともと、地域のためにという意識強い。

イベントを開くことも多いが、資金が非常に厳しいのが現実。

お寺同士のつながりは強いが、地域とのつながりもとても大切だと考えている。



#### ◆蓮香寺 樋口良宏さん

##### 寄付内容

事業を応援したいと地域まるごとキャンパスへの協賛。(十念寺からの紹介)

##### 寄付をした理由

4/8、8/8に毎年イベントがあり、学生の力があるとありがたいと考えている。

いろんな人とのつながりが大切。

お寺をもっと知ってほしい。



#### ◆西光寺 竹澤泰宏さん

##### 寄付内容

事業を応援したいと地域まるごとキャンパスへの協賛。(十念寺からの紹介)

##### 寄付をした理由

お寺に関わる人たちも高齢化している。

かるかや縁日を再開したいと考えており、若い人たちと一緒にやることで



新しいアイデアや活発になることも期待している。

圓成寺 小菅宗真さん

兼業で桃農家を営む。

地域で何かできないかと模索している



◆第一生命 難波哲人さん

寄付の内容

コロナ禍で営業活動ができなくなった 350 人の社員の地域貢献としてボランティア活動を提案した。

新聞紙バックの講習会を経て作成、寄付。

→子ども食堂やえんまるへ。使ってもらえてうれしい。

これから

今後でもできることをやっていきたいし、こういった長野の動きを全国に広めていきたい。



◆JT 長野支店 戸川浩司さん

寄付の内容

紙バックを作成して寄付。

他にもまんまるや企業との橋渡しに。

想い

「人のときを、想う」＝地域に寄り添い感謝されることを目指している。

地域に何かしたいけど何をすればいいのかわからないと感じている企業人も多くいる。第一生命の紙バックづくりでまんまるに出会い、さまざまな縁がつながっている。つながりを大切にしたい。



◆長野工業高校(長工プロジェクト) 松井悠起さん、牧勝大さん

寄付の内容

同校機械工学科有志の団体で、6年前から始まった。

手作り燻製機の売り上げを台風 19 号被災地支援に寄付。

他にも壊れた車イスを再生させたり、県警と協働し反射板を作るプロジェクトでは、今までに 6 千個販売。経費を抜いた売り上げは全て NPO 法人犯罪被害者支援センターへ寄付した。

寄付を通じて感じていること

地域のために一歩を踏み出すことができている。

自分のつくったものが人の役にたつのは嬉しいし励みになる。



### (3)グループワーク

後半はグループに分かれ、3つテーマについて話しました。

『なぜ寄付が根付かない！？』

(意見一覧)

- ・使い道がわかりにくい。(身近に感じられない)
- ・個人名が出ることへの抵抗感。
- ・寄付に対する認知度が低い
- ・寄付に関する教育を受けていない。
- ・文化の違い
- ・本当に根付いていない？  
→形はちがえど昔からあったお互い様の気持ち。
- ・情報が少ない
- ・自分との関わりがわかりにくい
- ・お金の話はしにくい
- ・寄付のイメージ(お金のみ・お金持ちがする・優位性)が払しょくできていない
- ・顔が見える関係が大切
- ・しくみがむずかしい(ネット決済・振込)お金の取り扱いが億劫
- ・税制で控除になるケースが限られる。
- ・仏教でのお布施の意味などがほとんど忘れられている。
- ・他人事=自己責任論

『こうすればもっと寄付は広がる！』

- ・参加しやすい寄付の方法があってもそれを知ってもらえることが大事。  
→寄付が素晴らしいことだと実体験、若い世代への寄付の教育(SDGs含めて)。
- ・ネット・webに抵抗感がない世代は寄付するのではないか
- ・しくみが楽だとやりやすい(レジ横・街頭募金)
- ・お金以外のものでも作業(ボランティア)や物などもあり！
- ・「寄付はステータス」を広げよう！
- ・使いみちがはっきりしているといい
- ・共感できるかがポイント=対等な立場であることが大切



#### (4)今回すぐに実現した協働事例

- ・みどりの市民×岡学園→この冬のイベントチラシ作成
- ・第三地区住民自治協議会→えんまる・HUG の情報を民生児童委員に共有
- ・第三地区住民自治協議会×第一生命→来年度のおまつりで使う紙バック作成
- ・蓮香寺→えんまる→お菓子などの提供
- ・NPO 法人食育体験教室コラボ×水島紙店→企画考案中

#### (5)まとめ

今回の企画を通じ、寄付にはさまざまな形があることや、寄付を集める方法を自分たちの目的に合わせて選ぶ大切さを参加者のみなさんが感じたようです。

グループワークはお寺や企業や NPO など他業種との交流に、会話が弾んでいました。「お寺のご住職さんと膝をつき合わせて話すことはないので新鮮だった」「知らない NPO 活動を知る機会になった」「視野が広がる」「新たな出会いがあり、活動につながりそうです」といった感想がありました。

今回のような企画の継続開催してほしいという声も多く、参加者のみなさんがいろんな人たちと出会う機会を望んでいることがわかりました。また、出会ったことで次の活動が生まれ、地域活動の活発化につながっていく可能性を感じました。

# 世界でたったひとつの

# 募金箱をつくらう



12月12日(日)、オリジナルの募金箱をつくるワークショップを、ながの協働ねっとと市民協働サポートセンターが開催し、幼稚園児から大人まで19人が参加。地域まるごとキャンパスに参加した高校・大学生も来てにぎやかな場になりました。

前半は募金とはなにかを知り身近に感じてもらうため、紙芝居や、過去に協働から寄付金をもらい事業を実施した団体から話を聞きました。



フリーペーパー作成のため寄付金をもらったババサークル『おっきいて』代表の仁科賢人さんは、「寄付金があると、その分内容を充実させるために力を注げるのでとてもありがたい」と、寄付金の利点や活用法について話しました。その後山本里江さんから、寄付金を活用し、障がいのある子どもたちの食事への理解を広める活動を実現したと話がありました。

また、身近な「赤い羽根共同募金」が災害支援や地域の活動に使われていることも、ながの共同募金会の塩澤宏之さんから話してもらうと、「全然知らなかった」と参加者。

後半、いよいよ募金箱づくり。今回のワークショップには、厚紙や画材など、手提屋(水島紙店)さんにたくさんのご協力をいただきました。

「回る回るハウス用に」「なんでもいいから使ってもらえるように」「どこで活用してくれますか？」などと相談しながら夢中で作りました。

参加した保護者は「子どもにとって、自分のつくったものが役に立ってくれたという体験になってくれたら」と話しました。

たくさんの花びらをつけたものや手書きのキャラクターを施したデザインなど、色とりどりの個性にあふれた募金箱が出来上がりました。

展示の後には各団体に贈呈予定になっています。



HP  
(市民協働  
サポートセンター)

☆ながの協働ねっとは、寄付月間アンバサダーです☆

主催：ながの協働ねっと・市民協働サポートセンター

協力：手提屋(水島紙店)

問合せ：市民協働サポートセンター 026-223-0051、npo@nagano-shimin.net、





ダンジョンがあらわれたぞ！  
キミの知らないことがそこにある！！  
さあ、ぼうけんに出かけるじゅんぴはいい？

# 自由研究 こういやくダンジョン ×NPO



今年も夏休みの自由研究を応援するために、NPOが“子どもたちがワクワクに出会える”ような体験を用意しました。  
たのしく参加して、思い出に残る夏休みにしよう！

くわしい内容はウラをみてね！



※それぞれの企画内容の問合せ、申し込みは裏面にある各団体にお願いします。

各企画ともに、原則保護者同伴です。申し込みの際は、このチラシを見たとお伝えください。

主催：長野市市民協働サポートセンター 026-223-0051 npo@nagano-shimin.net

協力：ながの協働ねっと

# いこうよ！ふれあいヤギ農場！<sup>のうじょう</sup>

ヤギってなにを食べてる？どんな目をしてる？

はなしをききながらかんさつをして、ヤギとたのしくあそぼう！

参加費：500円(1人・同伴の保護者も) ※記念缶バッジ付き

場 所：よっこらしょ農場(上ヶ屋2471-84)

主 催：NPO 法人飯綱高原よっこらしょ

申込先：市民協働サポートセンター

026-223-0051 npo@nagano-shimin.net

## 8/1~12

※うち、1日。

各日 10時受付

(所要時間 1~2時間程度)

締切り 7月28日

## 7/31(土)

13:00~14:30

定員 20人(先着順)

締切り 7月28日

12:00まで

※3日前からキャンセル料がかかります

## 大豆から“きなこ”をつくろう

と か がく  
~きなこでなぞ解く科学の世界~

生の大豆できなこをつくろう！つくり立てのきなこで、白玉やわらびもちにもチャレンジ！「なんで白玉は浮いてくるの？」など、料理にまつわる科学の話もきけるよ！

参加費：1,000円(参加者1人につき)

場 所：ふれあい福祉センター4階調理室

主催・申込先：NPO 法人食育体験教室・コラボ

kobo\_0819@yahoo.co.jp(メールのみ)

## 生ごみたい肥化計画！<sup>ひ か けい かく</sup>

土にかえるゴミがあるって知ってる？竹のちからをかりて、生ごみをひりょうにする体験にチャレンジしよう！

参加費：親子一組 600円(他に参加する子どもがいる場合+100円/1人)

場 所：ふれあい福祉センター5階

主催・申し込み先：市民協働サポートセンター

026-223-0051 npo@nagano-shimin.net

協力：NPO 法人みどりの市民

## 8/8(日)

10:00~11:30

定員 15組(先着順)

締切り 8月5日

## めざせ！防災レンジャー隊員！<sup>ぼう さい たい いん</sup>

① 8/6(金)

② 8/7(土)

どちらも 13:00~16:00

定員 9組 18人(先着順)

締切り 8月5日

① 小学4~6年生クラス

「災害がおきたらどうする？」ゲームをしながら、自分ならどうやってひなんするか、かんがえてみよう。

② 小学1~3年生クラス

「さいがいがおきたらどうしよう？」ゲームをしてかんがえたあと、わたしのさいがいポーチをつくろう！

参加費：500円(子ども1人につき・材料代)

場 所：学生NPO活動協働センター信州ベース

(小布施町小布施 1005)

主催・申し込み先：被災地を写真でつなぐ実行委員会

7.5tunagu@gmail.com(メールのみ)

※各企画ともに、原則保護者同伴でお願いします。

※コロナ感染拡大防止のため、マスクの着用、手指消毒、体調管理にご協力ください。

【第2号議案】

2021年度 決算書<総括用>  
2021年3月1日から2022年2月28日まで

ながの協働ねっと

(単位：円)

区分	一般会計	特別会計 ながの忍者を ふやそう大作戦	特別会計 地域まるごと キャンパス	計
前期繰越正味財産額	277,022	53,429	81	330,532
経常収益	183,814	0	856,128	1,039,942
経常費用	109,330	0	856,209	965,539
当期正味財産増減額	74,484	0	△ 81	74,403
次期繰越正味財産額	351,506	53,429	0	404,935

## 2021年度 特別会計：一般会計 決算書

2021年3月1日から2022年2月28日まで

ながの協働ねっと  
(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	105,000	3,000円×34団体
個人会員受取会費		1,000円×3人
2 受取助成金	50,000	県社会福祉協議会助成金(カランコエ授業)
3 事業収入		
貸出料	5,200	機材(ミキサーとマイク)レンタル料収入
受け取り参加費	3,600	募金箱ワークショップ参加費200円×18人
4 雑収入	20,012	2 口座利息 まるごとキャンパスから繰入
<b>経常収益合計</b>	<b>183,814</b>	
2 経常費用		
1 事業費		
諸謝金	50,000	カランコエ授業10,000円×5団体
	33,000	サイト管理委託
印刷製本費	300	募金箱ワークショップチラシ印刷代
旅費交通費	13,424	理事会参加のための交通費
会議費	1,724	ワークショップ参加者用茶菓子
<b>事業費合計</b>	<b>98,448</b>	
2 管理費		
印刷製本費	5,000	事務局印刷機使用料(理事会、総会資料など)
通信費	3,772	郵送料・切手代、ドメイン使用料
消耗品費	110	賞状の紙購入
支払手数料	152	振込手数料
諸会費	1,848	地域づくりネットワーク会費
<b>管理費合計</b>	<b>10,882</b>	
<b>経常費用合計</b>	<b>109,330</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>74,484</b>	
<b>前期繰越額合計</b>	<b>277,022</b>	
<b>次年度繰越合計</b>	<b>351,506</b>	

# 2021年度 特別会計：ながの忍者ふやそう大作戦 決算書

2021年3月1日から2022年2月28日まで

ながの協働ねっと  
(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I 経常収益		
<b>経常収益合計</b>	0	
1 事業費 (1) その他経費		
<b>その他経費合計</b>	0	
<b>事業費合計</b>	0	
<b>経常費用合計</b>	0	
<b>当期経常増減額</b>	0	
前期繰越正味財産額	53,429	
次期繰越正味財産額	53,429	

## 2021年度 特別会計：地域まるごとキャンパス 決算書

2021年3月1日から2022年2月28日まで

ながの協働ねっと  
(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I 経常収益		
1 受取寄付金	141,000	個人、団体寄付金
	5,078	募金箱より
	30,000	子育てみらいネットより次年度分協賛資金
2 受取助成金等 受取助成金	404,000	信州環境カレッジ 80,000 赤い羽根共同募金 300,000 県社協 24,000
3 登録料	236,050	フィールド登録料 2,000円×12団体 学生登録料@850×233人, @500×27人
4 その他収益	40,000	ユースリーチよりプログラム受け入れ謝金
経常収益合計	856,128	
II 経常費用		
1 事業費		
諸謝金	202,000	出前講座講師、プログラム審査、団体交流会
デザイン費	292,240	チラシデザイン費 1～3期 138,190 報告書デザイン費 154,050
印刷製本費	94,740	チラシ印刷費 1～3期 47,810 報告書印刷費 9,227 インクカートリッジ、コピー機使用料ほか 37,703
消耗品費	29,011	コピー用紙、模造紙、ファイルなど
備品	83,396	デジタルカメラ、ZOOM用機材(ミキサー)
保険料	81,550	学生ボランティア保険料@350×233人
通信費	16,380	チラシ郵送代、ZOOMアカウント使用料1,100円×12回
旅費	6,880	チラシ配布、説明会等学校周り
事業費合計	806,197	
次期まるごとキャンパス実行委員へ	30,000	
次期協働ねっと本会計へ繰入	20,012	
事業費合計	806,197	
その他合計	50,012	
経常費用合計	856,209	
当期経常増減額	△ 81	
前期繰越額合計	81	
次年度繰越合計	0	

【第3号議案】

監査報告書

2022年 5月19日

ながの協働ねっと 監事 青沼えり子 

2021（令和3）年3月1日から2022年2月28日までの会計年度における会計及び財産の監査を行い、次の通り報告致します。

決算書並びに財産について帳簿類と証拠書類を照合し詳細に監査したところ、いずれも適正であることを認める。

以上

## 【第4号議案】

### 2022年度 ながの協働ねっと事業計画

#### 《各事業》

#### 1 NPOの対話・交流、相互支援に関する事業

- (1) 「TALK&TALK」の開催
  - ・研修等に合わせて開催
- (2) 相互支援のきっかけづくり
  - ・会員研修等を活用して実施
- (3) オンラインコミュニティの運営
  - ・「facebook Messenger」等を活用しての情報交換。Facebook ページは活用促進のため、理事者とプロジェクト責任者には編集権限を付与

#### 2 NPOのネットワークの拡大に関する事業

- (1) 会員の拡大・広報の強化
  - ・長野市ながのまちづくり活動補助金の交付団体に対する勧誘活動
  - ・公式ホームページ・facebook ページ「ながの協働ねっと」での発信
- (2) 協働プロジェクト等の検討・実施
  - ・会員だけでなく、会員外団体からの提案による協働プロジェクトも検討する。  
それにより会員拡大を図る

#### 3 NPOと協働先（市民・地縁団体・企業・社会的起業家・行政等）の対話・交流に関する事業

- (1) 会員同士の交流会「TALK&TALK」開催
- (2) NPOと企業、行政、地縁団体、市民の交流  
NPO、企業家、行政職員等の幅広い参加者を想定。会員拡大につなげる
  - ① 企業との交流
    - ・各プロジェクトの活動を通して実施
    - ・会員企業と企画
  - ② 行政との交流
    - ・(3)に合わせて交流会開催
  - ③ 地縁団体との交流
    - ・市民協働サポートセンター事業「地域まんまる」への参加
  - ④ 学校との協働
    - ・SDGsの授業で会員団体が講師となるための地盤づくり
- (3) 研修
  - ・11月23日開催予定の「協働セミナー(仮称)」(市民協働サポートセンター主催)の共催団体となり、会員研修として位置づける。

#### 4 NPOと協働先との協働の創出に関する事業

- (1) 食育劇団ええ〜っこ

創作劇、民族芸能等を通じての食育の推進に関する活動

12月10日 キセキのみそ復活プロジェクトイベントに合わせて新作上演

(2) **ながの忍者をふやそう大作戦**

- ・ハート手裏剣寄付 申請団体の公募(12月～の寄付月間のイベントとして)
- ・残っているTシャツの販売(販路をさがす)

(4) キセキのみそ復活プロジェクト

2020年1月の会員ミーティングで生まれた企画。東日本台風で被災した長沼地区津野にある小川醸造場の奇跡的に被災を免れたみそを復興のシンボル・長野の食文化のシンボルとして復活させることにより、長く根付く発酵食品文化や地域の資源等を学習し理解を広めるプロジェクト。

実行委員会形式(会員団体では、食育体験教室コラボが参画)。ながの協働ねっとは協力団体。今年度も市立長野中学校1年生も参加決定。

6月の種まきから来年1月の味噌仕込みまで、小川醸造さんとの協働で行う。

プロジェクトは2022年12月で閉じる(当初から予定されていた期日)のを機に2022年12月10日土曜日に最終イベントを開催予定。

場所は被災地に近い東部文化ホールを予定(4月に予約済み)

学校の校外活動として、2020年・2021年・2022年(予定)、各年度の新一年生の地域を学ぶ授業として定着してきたが、来年度以降については未定。

(5) 寄付月間 ～Giving December～

寄付アンバサダーとしての立候補し、公式認定企画実施。

- ・NPOカフェまんまる(市民協働サポートセンター主催)の寄付テーマ交流会(12月予定)に企画協力団体として参画
- ・忍者を増やそう大作戦 ハート手裏剣寄付公募と審査会(12月以降)

5 アドボカシー活動

- (1) 県知事選において、立候補者アンケート実施(長野県NPOセンターとの協働)

【第5号議案】

2022年度 予算書<総括用>

2022年3月1日から2023年2月28日まで

ながの協働ねっと

(単位：円)

区分	一般会計	特別会計① ながの忍者をふ やそう大作戦	特別会計② 食育劇団ええ 〜っこ	計
前期繰越正味財産額	351,506	53,429	0	404,935
経常収益	133,000	51,500	15,000	199,500
経常費用	95,000	50,000	15,000	160,000
当期正味財産増減額	38,000	1,500	0	39,500
次期繰越正味財産額	389,506	54,929	0	444,435

## 2022年度 一般会計 予算書

2022年3月1日から2023年2月28日まで

ながの協働ねっと

(単位：円)

科 目	予算額	備 考
<b>I 経常収益</b>		
<b>1 受取会費</b>		
正会員受取会費	120,000	3,000×40団体=120,000
個人賛助会員受取会費	3,000	1,000円×3人=3,000円
<b>2 受取寄付金</b>		
受取寄付金		
<b>3 受取助成金等</b>		
受取助成金		
<b>4 事業収益</b>		
受取参加費		
<b>5 雑収入</b>	10,000	寄付月間企画協力団体費用
雑収益		
<b>経常収益合計</b>	133,000	
<b>II 経常費用</b>		
<b>1 事業費</b>		
(1) その他経費		
諸謝金	33,000	ホームページ管理委託
旅費交通費	15,000	理事会参加旅費(三田・飯島・亀垣・藤牧・須磨・太田)
参加研修費	5,000	まんまる主催「協働セミナー(仮)」11/23予定
プロジェクト事業等繰出金	30,000	15,000円×2(忍者・ええ〜っこ)
<b>その他経費合計</b>	83,000	
<b>事業費合計</b>	83,000	
<b>2 管理費</b>		
(1) その他経費		
印刷製本費	5,000	事務局印刷機使用料
旅費交通費		
諸会費		
支払手数料		
雑費	7,000	郵便代、ホームページドメイン使用料など
<b>管理費合計</b>	12,000	
<b>経常費用合計</b>	95,000	
<b>当期経常増減額</b>	38,000	

## 2022年度 特別会計：ながの忍者をふやそう大作戦 予算書

2022年3月1日から2023年2月28日まで

ながの協働ねっと

(単位：円)

科 目	予算額	備 考
<b>I 経常収益</b>		
1 受取寄付金		
受取協賛金		
受取寄付金		
2 受取助成金等		
受取助成金		
3 事業収益		
(1) 多世代交流活動		
受取参加費		
(2) ボランティア・寄付活動		
忍者グッズ売り上げ	36,500	忍者Tシャツ2,500円×9枚 忍者Tシャツ2,000円×6枚 忍者エコバック1,000円×2枚
4 雑収入		
一般会計からの繰入金	15,000	
<b>経常収益合計</b>	<b>51,500</b>	
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1) その他経費		
忍者Tシャツ等仕入原価		
印刷製本費		
消耗品費		
支払寄付金	50,000	ハート手裏剣寄付(寄付月間12月予定)
<b>事業費合計</b>	<b>50,000</b>	
<b>経常費用合計</b>	<b>50,000</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,500</b>	

## 2022年度 特別会計：食育ええ〜っこ 予算書

2022年3月1日から2023年2月28日まで

ながの協働ねっと

(単位：円)

科 目	予算額	備 考
<b>I 経常収益</b> 1 受取寄付金 受取協賛金 受取寄付金 2 受取助成金等 受取助成金 3 事業収益 (1) 多世代交流活動 受取参加費  (2) ボランティア・寄付活動  4 雑収入 一般会計からの繰入金	15,000	
<b>経常収益合計</b>	15,000	
<b>II 経常費用</b> 1 事業費 (1) その他経費	15,000	
<b>事業費合計</b>	15,000	
<b>経常費用合計</b>	15,000	
<b>当期経常増減額</b>	0	